

令和5年度事業報告書

社会福祉法人 宏仁会
理事長 吉田 基

1. 事業の概要

当法人の過去10年間（平成26年から令和5年度）の収支状況を当期活動増減差額により振り返ると、令和2年度から毎年赤字となりました。これは、令和2年から新型コロナウイルスの猛威が世界中に拡大したことに符合しております。当法人においても感染による利用者の入院数の増加、予防のためにデイサービス利用を控える人数の増加、また、予防のためにやむを得ず受け入れを休止したショートステイ事業などその影響は広範囲なものとなり、その結果、大幅な減収が続いております。

新型コロナウイルスは、本年5月8日から感染法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」となりました。しかし、本年度の当法人の感染状況は従来型の施設内で10月と2月に、ユニット型の施設内で3月に利用者様と職員が感染し、深刻な状況は現在も続いております。この状況から脱し、収支状況を改善するために感染予防の徹底と介護職員数を確保し利用者様を増やすことや歳出削減を重点に全職員一丸となって取り組みましたが、現在のところ新型コロナウイルスの収束も不透明の中で現状から抜け出せておらず、コロナ前の収支状況に至っておりません。引き続き、改善に向け全力で取り組みまいります。

次に各事業の利用状況ですが、特養の一日当たりの平均利用者数は従来型47.0人、ユニット型22.8人、合計69.8人で前年比0.2人減となり、短期入所（ショートステイ）は従来型12.2人、ユニット型空床3.8人、合計16.0人で前年度より3.2人増え、通所介護（デイサービス）は、一日当たり7.1人で前年度より4.2人の減少となりました。

特養入所は、新型コロナウイルス感染の影響などにより入院者が増加したことで利用者数が増え、短期入所は、職員の確保がすみ利用者の受入抑制を徐々に解除したことにより、利用者数が増加となりました。通所介護については、新規利用の同種の施設が増えていることにより、新規利用者を受け入れることが出来ず減少したものです。

町からの委託事業である在宅介護支援センター事業については、実態把握調査、連絡調整、配食新規調査、アンケート調査等を行い、86件でした。

居宅介護支援は、令和4年9月30日をもって廃止しておりますが、引き続き主任介護支援専門員（ケアマネージャー）の確保を図り、再開出来る様に努めてまいります。

生計困難者に対する相談支援事業は、1件の支援を実施しましたが、今後も相談支援を通じて地域社会に貢献してまいりたいと存じます。

施設・設備面では、ユニット型特養の建物の大規模修繕を予定し特別養護老人ホーム整備事業の補助金申請を進めておりましたが、前述のように収支状況が思わしくないので、理事会の意見も踏まえ断念いたしました。改めて計画を立てていく予定です。

ユニット型特養の建物屋上の防水改修工事は施設整備等積立金により実施しました。また、老朽化に伴う空調機・外調機の修理や消防設備の誘導灯更新やバッテリー交換、自動体外式除細動器（AED）の更新を実施しました。

国、県の補助として、新規利用者や職員のために抗原検査キットの無償提供や新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス提供体制確保事業と県高齢者施設等光熱費等高騰対策支援補助が交付されております。

今後も、介護サービスの向上に努め、地域社会から信頼される法人運営の実現を目指し努力してまいりますので、ご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。

施設利用の状況

介護老人福祉施設

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均利用人数
	R3年度 従来	49.3	48.4	43.8	44.3	45.7	45.6	43.5	46.1	47.5	47.7	45.6	44.4
ユニット	22.9	22.5	23.4	26.1	26.5	26.1	26.7	27.5	28.1	27.1	26.6	26.0	25.8
R4年度 従来	46.1	48.1	48.1	46.6	45.6	47.7	46.7	47.6	45.2	47.3	47.7	47.0	47.0
ユニット	26.8	26.8	27.3	27.0	26.4	24.7	24.0	23.2	22.6	21.3	21.0	21.7	24.4
R5年度 従来	47.3	47.6	48.4	47.7	47.3	48.5	48.1	46.3	45.2	44.5	47.1	45.7	47.0
ユニット	22.9	22.1	21.2	22.8	23.0	24.1	22.7	22.6	23.0	23.0	23.0	23.1	22.8

単位：人

数字は1日あたりの利用人数

令和6年3月31日現在契約在籍者 男性18人・女性53人

短期入所生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用延人数
	R3年度 従来	586	616	569	610	610	615	660	654	635	587	363	391
ユニット	90	62	75	44	62	47	38	60	28	9	27	91	633
R4年度 従来	354	302	320	353	383	314	379	361	341	351	311	309	4,078
ユニット	50	31	52	31	38	30	31	30	31	40	107	110	581
R5年度 従来	293	320	298	295	357	358	429	414	429	434	377	459	4,463
ユニット	97	94	135	136	118	108	159	154	109	68	90	127	1,395

単位：人

1日当たり利用人数

従来型：R3年度 18.9人 エント：R3年度 1.7人
 従来型：R4年度 11.2人 エント：R4年度 1.6人
 従来型：R5年度 12.2人 エント：R5年度 3.8人

通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	R3年度	326	343	303	322	304	318	355	347	316	297	308	340
R4年度	37	38	33	42	43	40	34	35	35	34	28	42	441
R5年度	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	23	27	308
R4年度	305	275	287	221	122	223	216	135	79	162	159	182	2,366
R5年度	29	20	24	23	17	27	26	20	16	27	28	31	288
R5年度	26	26	26	23	13	26	26	17	13	24	24	27	271
R5年度	168	215	188	117	156	149	155	157	162	173	157	137	1,934
R5年度	18	26	27	15	14	13	16	21	23	22	14	16	225
R5年度	25	27	26	22	27	26	26	26	25	24	25	26	305

単位：人

1日あたりの利用人数

R3年 14.0人 欄の上段は要介護利用者延人数
 R4年 9.8人 〃 中段は要支援、総合事業利用者延人数
 R5年 7.1人 〃 下段は移動日数

在宅介護支援センター

(P16資料3参照)

単位：件

	実態把握調査件数	連絡調整	配食新規調査・申請・アンケート調査等	合計
R3年度	51	20	84	155
R4年度	34	37	63	134
R5年度	10	39	37	86

居宅介護支援

単位：人

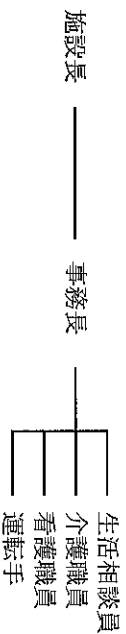
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	R3年度	34	34	34	33	21				休止			
R4年度				休止							休止		0
R5年度									休止				0

2. 運営管理の概要

(1) 介護老人福祉施設の組織



(2) 通所介護・日常生活総合事業の組織



(3) 在宅介護支援センターさくらぎ苑の組織 (小川町からの受託事業)



(4) 在宅介護支援事業の組織 (現在、廃止中)



(5) 生計困難者に対する相談支援事業の組織



(6) 事業別職員数

令和6年3月31日

介護老人福祉施設	基準	1		1	1	30	4	1		2	1	1	1					
	現員	①		②	1	45	8	1	委託	2	1	②						

医師については週1回、丸数字は兼務 (以下同じ)。

通所介護 (デイサービス)	基準	1			2	3	2							2	2			
	現員	①		①		4	2		委託					②	2			

在宅介護支援	基準	①						1										
	現員	①		①		①												

居宅介護支援 (廃止)	基準												1					
	現員																	1

生計困難者支援	基準	①																
	現員	①		①		①												

3. 処遇

利用者が安心して生活を送れるよう、施設長を中心に介護支援専門員・生活相談員・介護職員・看護職員等が協力して、利用者の基本的人権を尊重し、それぞれの状態に応じた適切な介護サービスを提供しました。また、利用者の食事摂取・水分補給の管理、排せつの管理、運動の実施、清潔な環境の維持、温度湿度の管理、快適な睡眠環境の維持など日常生活の管理を行いました。

介護職員が業務に専門性を発揮できるよう、シフト交換や清掃作業等を専門に行う職員を配置し、介護の提供体制の整備を進めました。併せて作業療法士によるリハビリ、出張サービスによる頭髪のカット、季節に合わせた行事等を実施し、利用者の豊かな日常生活への支援を行いました。

4. 行事の実施状況 (P7資料1参照)

5. 健康管理

嘱託医と連携して、利用者の状態を的確に把握し、発病等の際には、協力病院の瀬川病院への受診や入院、また小川赤十字病院等近隣の病院に搬送し協力いただき対応しました。また、口腔ケアについては、歯科医療機関のいとう歯科クリニックに診察、ケアに関する指導を受け、利用者の健康の保持増進に努めました。

新型コロナウイルスについては、利用者の新型コロナワクチン接種を実施しました。また、感染予防のため、職員や来苑者に対して手指の消毒、マスク着用、検温を引き続き実施し苑内の感染対策を行いました。10月には、利用者を対象に健康診断、11月には、利用者にはインフルエンザ予防接種を実施しました。

職員については、5月から6月にかけて職員全員、10月は夜勤者の健康診断の実施、11月にはインフルエンザ予防接種など、感染対策や健康管理を行いました。衛生委員会は、産業医の瀬川医師の指導により月一回の定例で開催し、産業医の指導を頂きながら職場及び職員の衛生管理、健康保持に努めました。

6. 利用者の食事

利用者の食事については、家庭的で食べやすく、食べ慣れたものを提供するこに努め、また旬の食材を使うため、小川町産の野菜を使用した地元野菜献立を月2回実施しました。また、低栄養の早期把握とその予防・改善のため、栄養マネジメントに取組むとともに、利用者一人一人に最適な栄養ケアを行い、健康・栄養状態の適正管理維持や食生活の質の向上を図りました。

月1回の行事食、年11回のお楽しみ献立、月1回の誕生会食を実施し、楽しんでいただける食事を提供しました。(P13資料2参照)

業務委託先の責任者と給食責任者、苑側は施設長、栄養士、各部署の責任者で意見を出し合う給食会議を毎月定例で開催し、地域独特の食材や季節の旬の食材を使った献立を多く取り入れるよう業者に要望し、利用者に喜んでいただける、より良い食事の提供を目指してまいりました。

7. 防災訓練

実施日	訓練内容		協力事業者
12月25日	(夜間火災想定) 消火訓練 通報訓練 避難・誘導訓練	DVDの視聴、警報 装置の取扱説明・ 通報訓練 避難・誘導訓練	なし
3月13日	(夜間火災想定) 消火訓練 通報訓練 避難・誘導訓練	DVDの視聴、警報 装置の取扱説明・ 通報訓練 避難・誘導訓練	なし

上記のほか、非常災害時に施設と地域双方が協力する体制を構築するために、地元小川町飯田区と「災害協定」を締結し非常時に備えています。

8. 会議と研修

リーダー会議は、苑の運営方針等の共通認識を持つことを目的に、介護サービスの向上策、各業務の業績報告、諸問題等の協議を毎月1回行いました。このほか、部署ごとのケア会議、入所者検討委員会、苦情相談委員会などを必要に応じて適宜実施してまいりました。

職員研修においては、外部研修・職場内研修を次のとおり実施しました。職員のスキルアップを図り、介護サービスの更なる向上に努めました。研修成果は、職員会議の機会等を活用して、研修内容の共有を図りました。

外部研修 (WEBによるオンライン含む。)

日 程	内 容	参 加 者
6月6日	繰り返し学ぶ感染症予防・基礎研修	(県社協) 従来介護職員1名 従来看護職2名
6月14日	COVID-19患者の対応について	(小川赤十字) 従来介護職2名 ユニット介護職1名
6月20日～6月30日	誤嚥事故防止セミナー	(全国老健協) 従来介護職員1名
6月24日	介護職員のための医療・薬の基礎研修	(県社協) 従来介護職員1名
6月28日	財務管理者研修	(県社協) 事務員1名
6月～8月	認知症介護基礎研修	(県老健協) 従来介護職2名 ユニット介護職1名
8月4日～8月22日	福祉職員の基本的スタンス研修	(県社協) 従来介護職4名 ユニット介護職3名
8月7日～8月22日	認知症研修ケア入門研修	(県社協) 従来介護職員2名
7月13日	事務員研修①	(県老健協) 事務員1名
9月7日	新型コロナウイルス感染症対策	(小川赤十字) 従来介護職員1名
9月7日	リスクマネジメント研修	(県社協) 従来介護職員1名
9月10日	ハラスメント防止研修	(県社協) 従来介護職員1名
9月19日～10月2日	福祉現場で必要な法律の基本知識研修	(県社協) 従来介護職員1名
10月18日	高齢者施設職員向け虐待防止研修	(県) 従来介護職員1名
11月21日～11月29日	介護人材定着研修	(全国老健協) 従来介護職1名 ユニット介護職1名
2月8日	摂食嚥下障害と誤嚥性肺炎	(小川赤十字) 従来介護職1名 ユニット介護職1名
3月18日	高齢者虐待防止研修	(県社協) 従来介護職員1名

職場内集合研修

日 程	内 容	参 加 者
4月19日	排せ介助、事故防止について	(従来型介護職員会議) 従来型介護職員 ユニット型介護職員
4月28日	排せ介助について	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
5月17日	身体拘束、食中毒の予防について	(従来型介護職員会議) 従来型介護職員
5月24日	感染症、身体拘束、高齢者虐待について	(ダイサービス会議) ダイサービス職員
5月24日	身体拘束、感染症予防について	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
6月14日	入浴事故予防について	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
6月21日	心理的虐待、熱中症、口腔・喀痰吸引について	(従来型介護職員会議) 従来型介護職員
7月12日	虐待防止、身体拘束、喀痰吸引について	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
7月19日	パレソンカテーテルの注意点について	(従来型介護職員会議) 従来型介護職員
8月16日	事故防止・入浴時の事故予防及び再発防止、吐物処理の対応方法について	(従来型介護職員会議) 従来型介護職員
8月26日	食事介助、口腔ケアについて	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
9月20日	褥瘡の原因、口腔ケアについて	(従来型介護職員会議) 従来型介護職員
9月26日	褥瘡予防、口腔ケアについて	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
10月15日	身体拘束について	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
11月15日	認知症ケア、身体拘束について	(従来型介護職員会議) 従来型介護職員
11月22日	虐待防止、感染症予防について	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
12月20日	バイタルの取り方、対応の仕方、褥瘡、喀痰吸引、吐物処理の仕方について	(従来型介護職員会議) 従来型介護職員
12月20日	褥瘡予防、口腔ケアについて	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
1月17日	入浴事故予防、身体拘束、急変フローチャート・救急車の呼び方について	(従来型介護職員会議) 従来型介護職員
1月17日	入浴事故、危機管理意識・事故後の対応について	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
2月28日	認知症対応について	(ユニット型介護職員会議) ユニット型介護職員
3月20日	口腔、事故防止について	(従来型介護職員会議) 従来型介護職員